

令和3年度

緊急時の対処方法

(子ども達を犯罪から守る方法)

ふじみ野市立上野台小学校

PTA会長 星野 弘明

校外委員長 柴 沙友理

校長 嘉手川 満

基 本

- 緊急時は、すぐに110番をする。
- 相手をよく観察し、腕力に自信があっても不用意に近づかない。

【1】子どもが助けを求めている時

不審者が、子どもを追いかけているのを見つけた時

- ・大声を出し、まず110番通報をする。
- ・学校にも連絡をする。
- ・保護者間で連絡を取り合い、警戒体制を取る。

観察のポイント

- 人相-----髪型、色黒、色白、眼鏡の有無
- 着衣-----上着の色、ズボンの色
- 体格-----太っている、痩せている、背は高いか低い
- 年齢-----学生風、30代、40代...
- 逃走手段・方向-----車、自転車、バイク(出ればナンバー)
- 時間

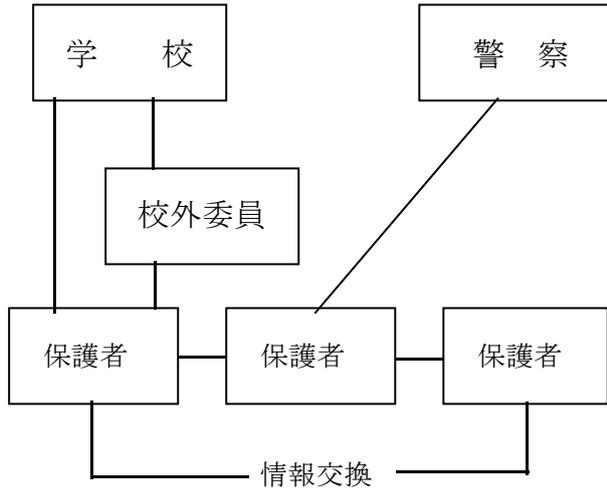
【2】不審人物を見た時 (目の前でメモしない)

- ・自転車、徒歩で徘徊している場合 <例>
上記のポイントを観察する。
- ・車を止めてじっとしている場合
上記のポイントを観察する。
他に、車のナンバー、色、型

所沢 55
は 12—34

※子どもに声をかけていたら、【1】の処置をとる。

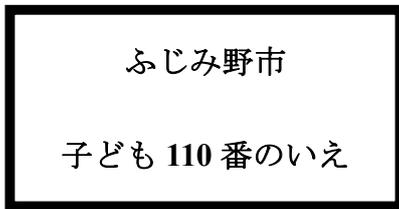
《緊急時の連絡体制》



まずは 1 1 0 番

次に 学校

261-1415



ふじみ野市内数百カ所には、
緊急時子ども達を守ってくれる
「子ども 110 番のいえ」 があります。



何かあった時には、
協力家庭からすぐに警察に連絡が入るしくみに
なっています。

いざという時、逃げ込む事ができるよう、
普段より、ステッカーが貼ってある場所を
お子様と一緒に確認しておいて下さい。

しかし、このステッカーが貼ってある家にしか
逃げ込めないという事ではありません。
近くの大人に助けを求める事が出来るという
事も、合わせてお話し下さい。

